

津田 学（大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, elipe Rogalski, Manabu Tsuda, Satomi Takeo, Tsunaki Asano, Takaomi Sakai, Toshiro Aigaki, 2025年02月, 英語, Epoxide hydrolases JHEH1 and JHEH2 deficiency impairs glucose metabolism in Drosophila, 査読あり, Biochem Biophys Res Commun, 0. 8527777777777777, 151313. , 10. 1016/j. bbrc. 2025. 151313

6. 社会貢献

- 1) 国際論文査読, 2024. 4-

9. 学内教育活動

1) 学部

- 細胞生物学（栄養学科用）, 2024. 4
- 細胞生物学（看護、社会福祉、リハ学科用）, 2024. 4
- 生物学基礎実験（栄養学科用）, 2024. 4
- 生物学基礎実験（看護、社会福祉、リハ学科用）, 2024. 9
- 分子生物学, 2024. 10
- バイオテクノロジー基礎実験, 2024. 10
- ヒューマンサービス論 I , 2024. 5

10. 学内各種委員会活動

- 1) 人間総合科長, 2024. 4
- 2) 総務企画委員会, 2024. 4
- 3) 教育研究審議会, 2024. 4
- 4) 人事選考委員会, 2024. 4
- 5) 昇任審査委員会, 2024. 4
- 6) 人事評価委員会, 2024. 4
- 7) アドミッションセンター, 2024. 4

木村 芳滋 (大学院保健福祉学研究科兼務)

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, Yoshishige Kimura, Tomomi Kaneko, Analysis of tissue distribution of metabolites for *C. elegans* by imaging mass spectrometry, The 2024 European Worm Meeting (EWM 2024), 2024年07月, Utrecht, the Netherlands
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, Yoshishige Kimura, Standardization of Surface Characterization of Biological Materials, 第33回 ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 総会, 2024年12月, ソウル, 韓国

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 日本医用マスメクトル学会, 評議員, 2015. 3. 1～
- 2) 一般社団法人 日本医用マスメクトル学会, 東日本支部幹事, 2015. 10. 20～
- 3) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会), 国内主査, 2016. 4. 1～
- 4) ISO/TC201 WG4 (国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会), 国際コンベナー, 2021. 4. 1～
- 5) 日本学術振興会R026 先端計測技術の将来設計委員会, 委員, 2020. 4. 1～
- 6) JIS原案作成委員会, 委員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 科目等履修生受け入れ(解剖学I, 解剖学II), 2024. 4. 1～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理委員会委員長, 2022. 4. 1～, ・学内手引きの改訂・学内研究倫理審査研修会担当など

関 勝 （大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 関 勝他, 2024年07月, 日本語, 理学療法士作業療法士必修ポイント. 専門基礎分野臨床医学2025, 医歯薬出版, 1-604

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ICME (institute of complex medical engineering) , council ; 評議員, 2024. 4
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会, 代議員, 2024. 4
- 3) 日本小児リハビリテーション学会, 評議員, 2024. 4
- 4) 厚生労働省（公益財団法人社会福祉振興試験センター）国家試験委員会, 幹事委員, 2024. 4
- 5) 厚生労働省（公益財団法人柔道整復研修試験財団）国家試験委員会, 幹事委員, 2024. 4
- 6) 神奈川リハビリテーション研究会, 幹事委員, 2024. 4
- 7) 慶應義塾大学医学部・慶應医学会, 会員, 2024. 4
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会, 試験委員会委員, 2024. 4
- 9) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会, 学術委員, 2024. 4
- 10) JISPRM, 査読委員, 2024. 4
- 11) Progress in Rehabilitation Medicine, 査読委員, 2024. 4
- 12) Disability Rehabilitation, 査読委員, 2024. 4
- 13) JJCRS, 編集委員, 2024. 4
- 14) 日本専門医機構（リハビリテーション医学）, 専門医特別試験委員, 2024. 4
- 15) 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員, 2024. 4
- 16) 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, 査読委員, 2024. 4
- 17) 第62回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員, 2024. 10
- 18) 第62回日本リハビリテーション医学会学術集会, 査読委員, 2025. 1

6. 社会貢献

- 1) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人, 2024. 4
- 2) 神奈川リハビリテーション研究会世話人, 2024. 4
- 3) オープンキャンパス 附属図書館, 2024. 4
- 4) うみかぜ祭 附属図書館, 2024. 4
- 5) 外部機関対応（附属図書館；長岡造形大学・奈良県立大学・日本ソーシャルワーカー協会・訪日団（日中発展協会、中日交流フォーラム）・神奈川県議会議員・横浜都市発展記念館）, 2024. 4
- 6) 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室および大学院医学研究科・慶應義塾大学看護医療学部および慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科スポーツマネジメント専

攻・埼玉医科大学国際医療センターとの学術交流, 2024. 4

8. 学会等での活動

- 1) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 学術部委員, 2024. 4
- 2) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 リハ基礎医学SIGメンバー , 2024. 4
- 3) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会 脊髄障害SIGメンバー , 2024. 4
- 4) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会2024年度代議員総会 代議員、専門医、認定臨床医、指導責任者, 2024. 6
- 5) 第89回日本温泉気候物理医学会総会学術集会 療法医, 2024. 6
- 6) 第4回小児リハビリテーション医学会 評議員, 2024. 8
- 7) 21st ICME (institute of complex medical engineering) Expanded Director Meeting Council , 2024. 9
- 8) 第54回日本臨床神経生理学会学術大会 専門医・専門技術師, 2024. 10
- 9) 第35回日本臨床スポーツ医学会 JSP0公認スポーツドクター, 2024. 11
- 10) Stroke2025 ; 第50回日本脳卒中学会学術集会 専門医, 2025. 3

9. 学内教育活動

1) 学部

- リハビリテーション概論（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- リハビリテーション論（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- リハビリテーション医学（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- 整形外科科学Ⅰ（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- 整形外科科学Ⅱ（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- 神経内科学（視聴覚教材作成等）, 2024. 4
- 脳神経外科学（視聴覚教材作成等）, 2024. 4

2) 博士後期課程

- 多職種連携システム開発演習（視聴覚教材作成等）, 2024. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 附属図書館長, 2024. 4
- 2) 神奈川県大学評価委員会, 2024. 4
- 3) 自己評価・内部質保証推進会議委員, 2024. 4
- 4) 神奈川県財政の援助団体等大学監査, 2024. 4
- 5) 幹部会議, 2024. 4
- 6) 教育研究審議会, 2024. 4

- 7) 役員会・経営審議会・教育研究審議会合同会議, 2024. 4
- 8) 学長補佐会議, 2024. 4
- 9) 津波火災避難訓練本部員, 2024. 4
- 10) 教員選考委員会委員, 2024. 4
- 11) 全学図書委員会陪席, 2024. 4
- 12) 入学式・卒業式登壇, 2024. 4
- 13) 教授会, 2024. 4
- 14) 学科会議・専任教授会, 2024. 4
- 15) 入学試験（推薦帰国社会人・共通試験・前期入試）面接・業務委員, 2024. 11
- 16) 教員昇任審査学科内委員会委員, 2024. 11
- 17) 学科長等専攻学科内委員会, 2025. 1
- 18) 2024年度研究委員会神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2025. 3

15. その他

- 1) 慶應義塾大学医学部および大学院医学研究科非常勤講師
- 2) 慶應義塾大学看護医療学部非常勤講師
- 3) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師（スポーツマネジメント専攻）
- 4) 学校法人日本医療科学大学保健医療学部非常勤講師
- 5) 一般社団法人日本専門医機構認定専門医資格取得（リハビリテーション医学）
- 6) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医および認定臨床医資格更新
- 7) 日本小児リハビリテーション医学会評議員選挙再選

成 耆鉉 （大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Hiroto Ohki, Ki-Hyeon Seong, Takahiro Suzuki, Masami Shimoda, 2025年02月, 英語, Automated survival monitoring system: exploring starvation resistance in newly hatched larvae, 査読あり, Applied Entomology & Zoology, 10.1007/s13355-025-00896-x

7. 講演, 放送

- 1) 2024年度ヒューマンサービス公開講座（秋季）, 2024. 10. 12, 講演

9. 学内教育活動

- 1) 学部
学生委員会のチューター, 2024. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会, 2024. 4, 委員長
- 2) 動物実験専門部会, 2024. 4, 委員
- 3) 動物実験管理者, 2024. 4
- 4) 研究科入試委員会, 2024. 4, 委員

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 挑戦的研究（開拓）, 代表者, 成耆鉉, 生きた昆虫の透明化技術の確立とその応用の研究, 2, 900千円, 2022年06月, 2028年03月, 総額: 25, 610千円（直接経費: 19, 700千円、間接経費: 5, 910千円）

深沢 和彦（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 河村茂雄, 2025年03月, 日本語, 生徒指導・進路指導の理論と実際 三訂版, 第5章column5 教師の体罰の実際、第12章1節 地域社会と学校との関係, 図書文化社, 82-83、180-183
- 2) 共著, 河村茂雄, 2025年03月, 日本語, 教育相談の理論と実際 三訂版, 第7章4 教科教育に教育相談を活かす実践例、第9章1節 特別支援対象の子どもの現状、第9章2節 小学校, 図書文化社, 108-113、130-135

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 深沢和彦, 河村茂雄, 親和学級2タイプの比較検討（2）—教育的相互作用の比較—, 日本教育心理学会第66回総会発表論文集, 2024年10月
- 2) ポスター, 責任者, 深沢和彦, 認め合い活動における発信数および受信数と学級適応感との関連の検討—帰りの会の「よいところさがし」の記録から—, 日本教育カウンセリング学会第21回研究発表大会発表論文集, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本スクールカウンセリング協議会, 研究委員, 2022. 6. 1～
- 2) 日本心理学諸学会連合, 心理学検定局運営委員, 2022. 1. 1～
- 3) 日本教育心理学会, 社員, 2019. 6. 1～
- 4) 日本カウンセリング学会, 社員（総務委員）, 2022. 4. 1～
- 5) 日本学級経営心理学会, 常任理事（編集委員長）, 2024. 3. 3～, 常任理事は2012年から
- 6) 日本教育カウンセリング学会, 研究委員、査読委員, 2021. 3. 1～

6. 社会貢献

- 1) 山梨県甲陵中学校思春期講座, 2024. 9. 24

7. 講演, 放送

- 1) 清泉女学院高等学校思春期講座, 2024. 4. 13
- 2) 清泉女学院中学校思春期講座, 2024. 4. 27
- 3) 沖縄県今帰仁中学校校内研修会講師, 2024. 8. 19
- 4) 山梨県増穂中学校校内研修会講師, 2024. 8. 23
- 5) 多摩市立小学校教育相談部会研修会, 2024. 8. 28

8. 学会等での活動

- 1) 第66回日本教育心理学会自主シンポジウム 指定討論者, 2024. 9. 14
- 2) 第36回日本発達心理学会ラウンドテーブル話題提供者, 2025. 3. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会, 2024. 4
- 2) 研究助成専門部会委員, 2024. 4
- 3) ヒューマンサービスパーチャ委員, 2024. 4

13. 受賞

- 1) 日本教育カウンセリング学会, サイエнтиストプラクティショナー賞, 2024. 7. 7

生田 倫子 （大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, Kubota Y, Kawai R, Tomata Y, Ikuta M, Kigawa M, Hironaka S, Narimatsu H, Smartphone addiction and oral health related quality of life in Japanese university students, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年03月
- 2) 口頭, 共同研究者, 川井 竜, 久保田 悠, 遠又 靖丈, 生田 倫子, 城川 美佳, 弘中 祥司, 成松 宏人, 大学生のスマホ依存リスクと口腔疾患の有病状況., 第2回ヒューマンサービス学会学術集会, 2024年11月
- 3) 口頭, 共同研究者, 久保田 悠, 遠又 靖丈, 生田 倫子, 城川 美佳, 大学生における口腔疾患、口腔保健行動の状況, 2024年度研究発表会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本心理臨床学会, 支援活動委員, 2013年12月～現在, 支援活動委員として, 震災復興支援に関する調査等行っている
- 2) 日本家族心理学会, 常任理事, 編集委員., 2007年6月～現在
- 3) 日本ブリーフセラピー協会, 常任理事, 編集委員, 2007年4月～現在
- 4) The International Academy of Family Psychology, Board., Board (理事), 2015年8月～現在
- 5) 横浜市教育委員会, 解決支援事業専門家, 2018年4月～現在

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 人間総合科担当, 2018年～
- 2) 北海道医療大学非常勤講師, 2015年～
- 3) 社会福祉法人児童養護施設手まり学園 研修・スーパーヴァイズ・コンサルテーション, 2011年～

7. 講演, 放送

- 1) 海上保安庁第三管区海上保安本部 メンタルヘルス講習, 2024年11月
- 2) 海上保安庁横浜海上保安部・横須賀海上保安部 メンタルヘルス研修, 2024年11月
- 3) 東京都特別区職員研修所事業 「中堅保育士」講師, 2024年10月
- 4) 横浜市西部児童相談所家族療法事業事例検討会 講師, 2024年11月

城川 美佳（大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 門脇睦美, 安岡圭子, 高橋千香, 向山晴子, 城川美佳, 白山芳久, 湯浅資之, 2024年01月, 日本語, 東京都世田谷区における新型コロナウイルス感染症の家庭内感染率と家庭内伝播に関わる要因, 査読あり, 厚生の指標, 71巻1号, 25-30

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, Kigawa M, Tsuchida A, Matsumura K, Hamazaki K, Inadera H., Factors Related to Lack of Response or Loss to Follow-up Among Japanese Mothers During the First Year Postpartum in the Japan Environment and Children's Study (JECS), World Association for Public Opinion Research 77th Annual Conference, 2024年07月
- 2) ポスター, 筆頭者・責任者, 城川美佳, 土田暁子, 松村健太, 浜崎景, 稲寺秀邦, 国籍による妊娠中の体重増加量に対する理解の違い, エコチル調査より, 第83回日本公衆衛生学会総会, 2024年10月
- 3) ポスター, 筆頭者・責任者, 城川美佳, 土田暁子, 松村健太, 伊藤美香, 田中朋美, 浜崎景, 足立雄一, 稲寺秀邦, 国籍による妊娠中の体重増加量に対する理解の違いとその影響, 子どもの健康と環境に関する全国調査より, グローバルヘルス合同学会2024, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本健康学会, 理事, 2023. 4. 1～2026. 3. 31
- 2) 国際学校保健コンソーシアム, 事務局委員, 2019. 4. 1～
- 3) ヒューマン・サービス学会, 編集委員, 2024. 4. 1～
- 4) 神奈川県, 調理師試験委員, 2024. 4. 1～
- 5) 横須賀市, 生活環境保全審議会委員, 2024. 4. 1～
- 6) 特定非営利活動法人 訪問看護ステーションコスモス, 理事, 2019. 4. 1～
- 7) 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ, 理事, 2021. 6. 1～
- 8) 全国栄養士養成施設協会, 栄養士実力認定試験委員, 2024. 7. 1～
- 9) 特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター, 第12回ウェルフェアデザインコンテント実行委員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 東京都台東区山谷地区における路上生活者等への健康相談会ボランティア, 2014. 4. 1～

9. 学内教育活動

1) 博士前期課程

研究法Ⅰの視聴覚教材作成, 2024. 9

研究法Ⅱの視聴覚教材作成, 2024. 10

2) 博士後期課程

サービス評価研究特論の視聴覚教材作成, 2024. 10

3) 学部

公衆衛生学の視聴覚教材作成, 2024. 10

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 C（共同研究）, 代表者, 城川美佳, 結核高蔓延国から日本への移入者に対する結核指導のあり方に関する研究, 510千円, 2024年04月, 2025年03月

15. その他

- 1) 関東学院大学非常勤講師
2) 琉球大学大学院非常勤講師

佐竹 弘行（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Takumi Hayashi, Elghareeb E. Elboray, Hina Sudo, Naoko Takenaga, Hiroyuki Satake, Toshifumi Dohi, 2024年12月, 英語, Divergent Synthesis of 4-Aminotriazoles Through Click Cycloaddition and Generation of Iodonium(III) Triazoles, 査読あり, European Journal of Organic Chemistry, 2025 Volume 28, Issue 6, e202401273

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会, 総務委員, 2024. 8～
- 2) ヒューマンサービス学会, 第2回学術集会実行委員, 2024. 9～11

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける人間総合科の紹介を行う部屋の準備および運営等を担当, 2024

9. 学内教育活動

1) 学部全学科対象

化学概論, 前期, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。学生に対してリアクションペーパーを実施。

薬の基礎科学, 後期後半, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。学生に対してリアクションペーパーを実施。

保健医療福祉論Ⅰ, 前期, 現場訪問当日の管理、及びその事前、事後指導を担当。

2) 学部栄養学科対象

基礎有機化学①, 前期, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。学生に対してリアクションペーパーを実施。

基礎有機化学実験①, 前期, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。対面による学生との対話を適宜実施。

3) 学部栄養学科以外の学科対象

基礎有機化学②, 前期, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。学生に対してリアクションペーパーを実施。

基礎有機化学実験②, 前期集中, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。対面による学生との対話を適宜実施。

4) 学部全学科対象（看護学科）

物理学, 後期, 科目責任者。自作の補助教材（プリント）等を適宜使用。対面による学生との対話を適宜実施。

5) 学部看護学科 (Aクラス) 対象

英語 (保健医療福祉のための英語Ⅱ) ①, 後期, 科目責任者。学生に対してリアクションペーパーを実施。文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導。

6) 学部看護学科 (Bクラス) 対象

英語 (保健医療福祉のための英語Ⅱ) ②, 後期, 科目責任者。学生に対してリアクションペーパーを実施。文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導。

7) 学部社会福祉学科 (Aクラス) 対象

文献検索とクリティーク (社福Aクラス), 後期, クリティーク部分を担当。学生に対してリアクションペーパーを実施。文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導。

8) 学部社会福祉学科 (Bクラス) 対象

文献検索とクリティーク (社福Bクラス), 後期, クリティーク部分を担当。学生に対してリアクションペーパーを実施。文献に関するグループ発表等の実践及び関連指導。

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会委員, 通年, 『自己評価審査会専門部会委員』を兼務
- 2) 教務委員会委員, 通年
- 3) ヒューマンサービスセンター地域貢献部門委員, 通年, 『自己評価審査会専門部会委員』を兼務

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 佐竹弘行, キサンチン誘導体の高選択的かつ簡便な蛍光検出手法の新規開発に関する基礎的研究, 3, 500千円, 2024年04月, 2028年03月

15. その他

- 1) 佐竹弘行, 『水中の特定の有機分子を対称性環状化合物の利用により簡便に蛍光検出できる新たな手法の検討』, 2024年度研究発表会 (学内) にて発表
- 2) 人間総合科におけるE会担当, 科内の諸行事に関する管理
- 3) 教職員親睦・秋会実行委員長

志村 華絵（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2), 127-137, 10.32217/jaipe.17.2_146
- 2) 原著論文, 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川 学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果 ―紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証―, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 志村華絵, 高齢者と孫世代の子どもとの交流が高齢者の心身に及ぼす効果 : 世代間交流を行う社会福祉法人への質問紙調査の中間報告, 日本世代間交流学会第15回全国大会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 米国内科学会(American College of Physicians; ACP)日本支部, Physicians' Well-being Committee委員, 2022年7月～, 医師のバーンアウト予防に関する活動に関わっており, ACP日本支部会員の医師のバーンアウトに関する質問紙調査研究を行っている. 調査結果を論文投稿した(in press). 医師対象のセミナーも実施し, 講師を務めた.
- 2) 日本内科学会, 認定総合内科専門医, 2012年12月～, 2024年度に任期を更新した.
- 3) 日本内科学会, 認定内科医, 2008年9月～, 2025年度に任期を更新した.
- 4) 日本内科学会, 認定指導医, 2013年9月～
- 5) 日本内科学会, 内科専門医 病歴評価委員, 2013年2月～
- 6) 日本血液学会, 血液指導医, 2016年4月～
- 7) 日本血液学会, 血液専門医, 2011年4月～
- 8) 日本がん治療認定医機構, がん治療認定医, 2010年4月～
- 9) 日本輸血・細胞治療学会, 認定医, 2022年1月～
- 10) 日本医師会, 産業医, 2010年5月～
- 11) 日本救急医学会, ICLS (Immediate Cardiac Life Support) インストラクター, 2007年8月～
- 12) 都道府県, 難病指定医, 2014年12月～

- 13) 株式会社日本フローラルアート（東京カルチャーセンター）、乳幼児食指導士, 2021年8月～
- 14) 日本世代間交流学会誌, 査読委員, 2024年12月～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県労働衛生福祉協会 非常勤医師, 2021年11月～
- 2) 立教女学院中学高等学校 生徒及び教職員の内科健診業務, 2023年5月～

8. 学会等での活動

- 1) 米国内科学会 (American College of Physicians; ACP) 日本支部 年次総会2024 Core Clinicalセッション 座長, 2024年6月23日
- 2) 米国内科学会 (American College of Physicians; ACP) 日本支部 オンラインセミナー講師, 2025年3月13日, Physicians' Well-being Committee (PWC) 主催オンラインセミナー「実践的な指導医との対話形式による相談会」のチームリーダーとして準備を進め, 当日は講師を務めた.

9. 学内教育活動

1) 学部

- ・看護学科2年生 疾病と治療 I（オムニバスの講義）外部講師依頼, 2024年4月～2024年7月, 臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者（各科目の専門医・指導医かつ研究者）に講義を依頼し, 学生の聴講の機会を作った.
- ・2025年度 栄養学科2年「臨床医学概論」及び看護学科2年「病態生理学」の外部講師調整, 2025年1月～2025年3月, 知人で臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者(各科目の専門医・指導医かつ研究者)10名に講義を依頼し, 講義の割り振りと事務手続きを行った. また自ら講義を引き受け, 講座の趣旨に沿うよう, 講座全体の講義を組み替えた.
- ・日本プライマリ・ケア連合学会の総合医育成プログラムの講義への反映, 2024年4月～2025年3月, 2022年から受講を続け, 規定単位を満たして本年度修了（修了番号第2024-4235号）した. 内容を各分野の最新の情報を講義に反映させた.
- ・講義で学生のプレゼンテーションの実施, 2024年4月～2025年3月, 学生にモチベーションを維持し興味を持ってもらえるよう, 講義にアクティブラーニングを取り入れ, プレゼンテーションを行わせた. 教科書の知識のみならず実際の臨床現場での経験を講義内容に含めるようにした.
- ・国家試験出題内容の講義への反映, 2024年4月～2025年3月, 講義内容には, 当該分野の過去の国家試験出題内容を反映させた.
- ・小テストの実施, 2024年4月～2025年3月, 重要事項を中心に講義終了5分を小テストにし, 次回講義で内容の解説をして復習に役立てやすいように工夫した.

- ・リアクションペーパーの活用, 2024年4月～2025年3月, 講義ごとにリアクションペーパーで学生の理解度を把握するよう心掛けた. 寄せられた質問には, 毎週講義内で回答した.
- ・成人看護学(慢性期)Ⅱ 侵襲性のある看護技術実習時の有事対応, 2024年4月～2024年7月, 看護学科からの依頼
- ・全学部共通1年生 保健医療福祉論Ⅰ 講義, 2024年4月, サヴァティカルで不在の講師の代理で講義をした.
- ・リハ学科2年生理学実習及び栄養学科2年生生体機能学実験の実習環境の整備, 2024年4月～2025年3月, 水銀血圧計の使用禁止に伴い, 一人一台使用できるように血圧計を購入した. また, 酸素飽和度測定計を新たに購入し, 実習内容を充実させた. 聴診器も古くなったため購入した.
- ・リハ学科2年 内科学ⅠⅡ新たな講義資料の作成, 2024年4月～2025年3月, 教科書を変更し, それに沿った講義内容となるよう合計30コマ分の講義資料を大幅に改訂した.

2) 博士前期課程

2025年度 看護学科2年「病態生理学」の外部講師調整, 2025年1月～2025年3月, 知人で臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者(各科目の専門医・指導医かつ研究者)6名に講義を依頼し, 講義の割り振りと事務手続きを行った. また自らが外部講師の講義後の双方向性の振り返り講義を引き受け, 講座の趣旨に沿うよう, 講座全体の講義を組み替えた.

10. 学内各種委員会活動

- 1) 時間割編成ワーキンググループ委員, 2022年4月～2024年5月
- 2) 図書委員会, 2024年4月～2024年4月, 図書館書籍の除籍基準の改訂に関わった.

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 志村華絵, 幼老複合施設における世代間交流が高齢者に与える医学的効果の検討, 3,640千円, 2018年04月, 2025年03月, 産前産後の休暇, 育児休業の取得に伴う補助事業期間延長及び新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う補助事業期間延長を申請した. 今年度, 老年科専門医(1631名)及び世代間交流を行う社会福祉法人(737法人)への質問紙調査を実施し, それぞれ論文投稿中である. 社会福祉法人への視察を行った.

15. その他

- 1) 横浜創英大学 非常勤講師, 看護学部2年生「症候論Ⅰ」を担当した.
- 2) ヒューマンサービス総合演習における, 多職種連携の授業への模擬電子カルテの活用, 2022年度学長推薦研究(看護学科 渡邊恵先生)の共同研究者として, 看護学科で使用していた模擬電子カルテを多職種連携の授業に活用する試みに関わり, 他学科と協同して4年次生の「ヒューマンサービス総合演習」で事例提供ツールとして模擬電子カルテを活用して

いる。従来よりあった症例を医学的に検証し、全症例について大幅な改定を行った。2024年度も同研究を継続した。

- 3) 地域在住高齢者におけるビタミンB1栄養状態と食生活状況の関連」(令和6年3月～) 五味郁子, 志村華絵, 福岡梨沙, 医学的アドバイザー, 血液検査実施要員として研究に参加している。
- 4) 一般社団法人家庭まち創り政策ラボの国際シンポジウムへの準備, 一般社団法人家庭まち創り政策ラボと, 政策提言などに関する意見交換をしている。2025年5月に外務省や文部科学省等が後援する国際シンポジウムに登壇することが決定しており, 準備を進めている。
- 5) ロート製薬株式会社, 国立大学法人滋賀大学, 明治ホールディングス株式会社, 株式会社イブケア他との多機関共同研究「デジタル世代間交流による社会的処方の予備的効果検証」, スタートアップに際し, 医学的アドバイスをした。
- 6) リハ学科 持病のある学生の臨床実習への参加可否の相談対応, リハ学科教員からの実習にあたっての相談に対応した。
- 7) 共同研究プロジェクト(国際会議でのワークショップ開催と書籍発刊の準備), 多国籍のメンバーと, 2025年6月に米国で開催されるthe Generations United 23rd Global Intergenerational Conferenceにおいてワークショップを主催予定で, 国際的な世代間交流の用語解説集を発刊するための準備を進めている。

福田 平（大学院保健福祉学研究科兼務）

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 責任著者, Nakajima T, Fukuda T, Shibasaki I, Obi S, Sakuma M, Abe S, Fukuda H, Toyoda S, Nakajima T. , 2024年04月, 英語, Pathophysiological roles of the serum acylcarnitine level and acylcarnitine/free carnitine ratio in patients with cardiovascular diseases. , 査読あり, IJC Heart & Vasculature, 2024 Vol. 51, 101386-101386, 10.1016/j.ijcha.2024.101386
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Fukuda T, Yazawa H, Nishikawa R, Tokoi S, Kayashima R, Kono K, Sakuma M, Abe S, Toyoda S, Nakajima T. , 2024年05月, 英語, Physiological role of serum growth differentiation factor-15 (GDF-15) level and iron metabolism in community-dwelling older adults. , 査読あり, Cureus, 2024 Vol. 16, e60422-e60422, 10.7759/cureus.60422
- 3) 原著論文, 共著者, Nakajima T, Haruyama A, Fukuda T, Minami K, Hirose S, Yazawa H, Nakajima T, Hasegawa T, Kitagawa Y, Obi S, Inami S, Oguri G, Shibasaki I, Amano H, Arikawa T, Sakuma M, Abe S, Fukuda H, Toyoda S. , 2024年07月, 英語, Left atrial reservoir strain is a marker of atrial fibrotic remodeling in patients undergoing cardiovascular surgery: Analysis of gene expression. , 査読あり, PLoS One, 2024 Vol. 19, e0306323-e0306323, 10.1371/journal.pone.0306323
- 4) 総説論文, 筆頭著者・責任著者, Fukuda T, Ishizaka H, Sato Y, Toyoda S, Nakajima T. , 2024年11月, 英語, KAATSU training and pain relief. , 査読あり, Int J KAATSU Training Res, 2024 Vol. 20, 1-9, 10.3806/ijktr.20.1
- 5) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Fukuda T, Nakajima T, Hasegawa T, Amano H, Arikawa T, Shibasaki I, Ohni M, Abe S, Sakuma M, Fukuda H, Toyoda S. , 2024年11月, 英語, Relationship between serum ω -3 polyunsaturated fatty acid concentration and fatty acid fraction of epicardial adipose tissue in patients with cardiovascular disease. , 査読あり, Cureus, 2024 Vol. 16, e73417-e73417, 10.7759/cureus.73417

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, 福田平、中島貴文、山口すおみ、天野裕久、有川拓男、八木博、阿部七郎、柴崎郁子、福田宏嗣、佐久間理吏、豊田茂、中島敏明, 心血管疾患患者における血清アシルカルニチン値とアシルカルニチン/遊離カルニチン比の生理学的役割, 日本心臓リハビリテーション学会第30回学術集会, 2024年07月
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, 福田平、中島貴文、山口すおみ、天野裕久、有川拓男、八木博、阿部七郎、柴崎郁子、福田宏嗣、佐久間理吏、豊田茂、中島敏明, 心臓血管手術患者における血清アシルカルニチン値とアシルカルニチン/遊離カルニチン比の病態生理学的役割, 日

本臨床運動療法学会第43回学術集会, 2024年09月

- 3) 口頭, 責任者, 中島貴文、福田平、柴崎郁子、小尾正太郎、佐久間理吏、阿部七郎、福田宏嗣、豊田茂、中島敏明, 心血管病患者における血清アシルカルニチン値とアシルカルニチン/遊離カルニチン比の病態生理学的役割, 日本心臓病学会第72回学術集会, 2024年09月
- 4) 口頭, 筆頭者・責任者, 福田平、矢澤寛子、西川理壺、床井聖子、長谷川貴亮、茅島綾、河野かおり、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂、中島敏明, 地域在住高齢者における血清GDF-15値と鉄代謝の生理学的役割, 日本心臓病学会第72回学術集会, 2024年09月
- 5) ポスター, 筆頭者・責任者, 福田平、矢澤寛子、西川理壺、山口すおみ、八木博、佐久間理吏、豊田茂、中島敏明, 地域在住高齢者における血清GDF-15とヘプシジンの生理学的役割, 日本心臓リハビリテーション学会第9回関東甲信越支部地方会, 2024年11月
- 6) 口頭, 共同研究者, 中島敏明、菊池宏信、小栗岳、福田平、岩沢邦明、小尾正太郎、豊田茂, 脂肪細胞に発現するTransient Receptor Potential Vanilloid (TRPV) チャネルと温度依存性・細胞機能との関連について, 和温療法第3回学術大会, 2024年11月
- 7) 口頭, 筆頭者・責任者, 福田平、中島敏明、柴崎郁子、阿部七郎、佐久間理吏、福田宏嗣、豊田茂, 心血管疾患患者における血中 ω 3濃度と心外膜脂肪の脂肪酸分画との関連について, 日本臨床生理学会第61回総会, 2024年11月
- 8) 口頭, 共同研究者, 中島貴文、中島敏明、横町淳、春山亜希子、福田平、小尾正太郎、南健太郎、小栗岳、柴崎郁子、佐久間理吏、福田宏嗣、豊田茂, Pathophysiological Roles of Atrial Genes Related to Fantastic Four Drugs on Atrial Remodeling in Patients Undergoing Cardiovascular Surgery. , 日本循環器学会第89回学術集会, 2025年03月
- 9) ポスター, 筆頭者・責任者, 福田平、矢澤寛子、西川理壺、佐久間理吏、阿部七郎、豊田茂、中島敏明, Physiological Role of Serum GDF-15 Levels and Iron Metabolism in Community-dwelling Older Adults. , 日本循環器学会第89回学術集会, 2025年03月
- 10) ポスター, 筆頭者・責任者, 福田平、中島敏明、柴崎郁子、阿部七郎、佐久間理吏、福田宏嗣、豊田茂, Relationship between Serum ω 3 Concentration and Fatty Acid Fraction of Epicardial Adipose Tissue in Patients with Cardiovascular Disease. , 日本循環器学会第89回学術集会, 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本循環器学会, 査読委員, 2023. 10. 1～
- 2) NPO法人日本臨床運動療法学会, 評議員, 2024. 10. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 担当 , 2024. 4. 1～
- 2) オープンキャンパス

10. 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会, 2024. 4
- 2) FD・SD委員会, 2024. 4
- 3) アドミッションセンター入試広報部門, 2024. 4
- 4) 国際協働部門, 2024. 4
- 5) 衛生委員会, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C) , 代表者, 福田平、中島敏明, 体水分を考慮した重症高齢者のPhase angleによるサルコペニア診断法の開発, 3, 500千円, 2024年04月, 2027年03月